

平成 2 7 年度

事業報告書  
収支計算書

公益財団法人兵庫県科学技術振興財団

# 目 次

## 平成27年度 事業報告

### I. 法人の概要

- 1. 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3. 基金の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 4. 役員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 5. 会議
  - (1) 理事会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
  - (2) 評議員会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 6. 役員改選
  - (1) 平成27年6月10日付・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

### II. 事業の概要

- 1. 研究及び科学技術に関する助成事業（科学技術振興助成金事業）
  - (1) 周知方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
  - (2) 助成金申請受付状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
  - (3) 選考委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
  - (4) 助成金交付件数及び助成額・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - (5) 科学技術振興に関する助成金贈呈の会・・・・・・・・ 7
  - (6) 兵庫県科学技術振興財団助成金 年度別実績・・・・ 8
  - (7) 交付対象となった研究概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 2. 特記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

## 平成27年度 経理状況

- 貸借対照表（平成28年3月31日現在）・・・・・・・・・・・・ 12
- 正味財産増減計算書（平成27年4月1日～平成28年3月31日）・・・・ 13
- 正味財産増減計算書内訳表（平成27年4月1日～平成28年3月31日）・・・・ 14
- 財務諸表に対す注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 財産目録（平成28年3月31日現在）・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 収支計算書（予算対比）（平成27年4月1日～平成28年3月31日）・・・・ 17
  
- 監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

## 平成27年度 事業報告書

### I. 法人の概要

#### 1. 目的

兵庫県における科学技術の研究開発を助成し、科学技術に関する知識及び思想の普及並びに啓発に努めることにより、科学技術の発展と科学思想の浸透を図り、もって兵庫県の産業の振興と県民の生活及び福祉の向上に資することを目的とする。

#### 2. 沿革

昭和51年4月17日 設立許可（昭和51年4月17日付兵庫県指令文第1-3号）  
基本財産 2億円（出損者：兵庫県）  
昭和51年4月26日 設立登記  
平成25年4月9日 公益財団法人へ移行登記

#### 3. 基金の状況

基本財産	200,000,000円
出損金受領年月日	昭和51年4月19日
出損者	兵庫県
管理状況	兵庫県縁故債 (契約締結日：平成23年12月20日) 金額 200,000,000円

(注) 出損金はハニー化成㈱が兵庫県に寄附したものの。

#### 4. 役員

平成27年11月19日 登記後

財団役職	氏名	所属・役職名
会長	神門 登	ハニー化成㈱ 専務取締役
理事	坂井 幸蔵	㈱アマデラスホールディングス 取締役会長
理事	中前 勝彦	神戸大学 名誉教授
理事	太田 勲	兵庫県立大学 理事兼副学長
理事	磯貝 武	(有) アイピーアイ 代表取締役
理事	半谷 正裕	住友ゴム工業㈱ 知的財産部長
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 理事・産業部長
監事	内沼 英城	太陽グラントソントン税理士法人 シニアマネジャー 税理士
監事	竹岡 嘉彦	兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長

評議員	竹村 正樹	兵庫県産業労働部産業振興局長
評議員	飯塚 昌弘	川崎重工業(株) 理事・技術開発本部 知的財産部長
評議員	井上 二三夫	シスメックス(株) 研究開発企画本部副本部長・知的財産部長
評議員	亀岡 誠司	(株)神戸製鋼所 技術開発本部 知的財産部長
評議員	横山 光宏	兵庫県立姫路循環器病センター 名誉院長／参与

会長 1 理事 6 監事 2 評議員 5 (計 14 名)

## 5. 会議

### (1) 理事会の開催

① 日時 平成27年5月18日(月) 15:30～17:00

場所 兵庫県産業技術センター 技術交流館2階 セミナー室Ⅱ

理事会 出席者(順不同・敬称略)

理事 神門 登 ハニー化成株式会社 専務取締役  
 理事 坂井 幸蔵 株式会社アマデラスホールディングス 取締役会長  
 理事 中前 勝彦 神戸大学 名誉教授  
 理事 太田 勲 兵庫県立大学 副学長  
 理事 磯貝 武 有限会社アイピーアイ 代表取締役  
 理事 半谷 正裕 住友ゴム工業株式会社 知的財産部長  
 監事 内沼 英城 グラントソントン太陽 ASG 税理士法人 シニアマネジャー  
 事務局 水本 公治 公益財団法人兵庫県科学技術振興財団 事務局

議決事項

- (1) 第1号議案 平成26年度事業報告同収支決算(案)について
- (2) 第2号議案 役員改選(案)について
- (3) 第3号議案 評議員会の招集について

② 日時 平成27年6月3日(水) 11:30～12:00(不正立)

場所 兵庫県産業技術センター 技術交流館2階 セミナー室Ⅱ

理事会 出席者(順不同・敬称略)

理事 神門 登 ハニー化成株式会社 専務取締役  
 理事 坂井 幸蔵 株式会社アマデラスホールディングス 取締役会長  
 理事 中前 勝彦 神戸大学 名誉教授  
 理事 太田 勲 兵庫県立大学 副学長  
 監事 竹岡 嘉彦 兵庫県産業労働部産業振興局新産業課長

③ 決議の省略による理事会の開催

日時 平成27年6月10日(水) 決議のあったとみなされた日

議決事項

(1) 第1号議案 代表理事の選出について

④ 日時 平成27年12月1日(火) 15:00~17:00

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館 2階 セミナー室II

理事会 出席者(順不同・敬称略)

理事	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	坂井 幸蔵	株式会社アマデラスホールディングス 取締役会長
理事	磯貝 武	有限会社アイピーアイ 代表取締役
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 理事 産業部長
監事	内沼 英城	太陽グラントソントン税理士法人 シニアマネジャー
監事	竹岡 嘉彦	兵庫県産業労働部産業振興局新産業課長
事務局	水本 公治	公益財団法人兵庫県科学技術振興財団 事務局

議決事項

(1) 第1号議案 平成27年度兵庫県科学技術振興助成金 交付(案)について

(2) 第2号議案 第40回助成金贈呈の会(案)について

(3) 第3号議案 平成27年度中間事業報告

(4) 第4号議案 平成27年度第1回補正予算(案)について

⑤ 日時 平成28年3月15日(火) 16:00~17:00

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館2階 セミナー室II

理事会 出席者(順不同・敬称略)

理事	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	坂井 幸蔵	株式会社アマデラスホールディングス 取締役会長
理事	中前 勝彦	神戸大学 名誉教授
理事	太田 勲	兵庫県立大学 理事兼副学長
理事	磯貝 武	有限会社アイピーアイ 代表取締役
理事	半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部長
監事	内沼 英城	太陽グラントソントン税理士法人 シニアマネジャー
監事	竹岡 嘉彦	兵庫県産業労働部産業振興局新産業課長

事務局 水本 公治 公益財団法人兵庫県科学技術振興財団 事務局

#### 議決事項

(1) 第1号議案 平成28年度事業計画・収支予算(案)について

(2) 評議員会の開催(不成立)

① 日時 平成27年6月3日(水) 10:30~11:30

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館2階 セミナー室II

評議員会 出席者(順不同・敬称略)

評議員 飯塚 昌弘 川崎重工業株式会社 理事 技術開発本部 知的財産部長

評議員 井上二三夫 シスメックス株式会社 研究開発企画本部副本部長兼知的財産部長

理事 神門 登 ハニー化成株式会社 専務取締役

理事 坂井 幸蔵 株式会社アマデラスホールディングス 取締役会長

理事 中前 勝彦 神戸大学 名誉教授

理事 太田 勲 兵庫県立大学 理事兼副学長

監事 竹岡 嘉彦 兵庫県産業労働部産業振興局新産業課長

事務局 水本 公治 公益財団法人兵庫県科学技術振興財団 事務局

(3) 決議の省略による評議員会の開催

① 日時 平成27年6月10日(水) 決議のあったとみなされた日

評議員 飯塚 昌弘 評議員 井上二三夫 評議員 亀岡 誠司

評議員 横山 光宏 評議員 竹村 正樹

#### 議決事項

(1) 第1号議案 平成26年度財務諸表の承認について

(2) 第2号議案 役員改選(案)の承認について

(3) その他報告事項

(ア) 平成26年度事業報告

(イ) 平成27年事業計画同収支予算

## 6. 役員改選

(1) 平成27年6月10日付 交代

理事

草野 誠一郎 (神戸商工会議所 前産業部長)

理事退任

平岡 靖敏 (神戸商工会議所 理事・産業部長) 理事就任  
任期 2年

#### 監事

東川 玲 (兵庫県産業労働部産業振興局 前新産業情報課長) 監事退任  
竹岡 嘉彦 (兵庫県産業労働部産業振興局 新産業情報課長) 監事就任  
任期 4年

(2) 平成27年11月19日付

#### 理事

上田 完次 (兵庫県立工業技術センター 所長) 死亡退任

## II. 事業の概要

### 1. 研究及び科学技術に関する助成事業 (科学技術振興助成金事業)

#### (1) 周知方法

- ・ 関係団体、県内各商工会議所・商工会・県民局等への案内送付
- ・ ホームページ掲載
- ・ 内部機関紙告知 (兵庫県発明協会 機関紙 IPR)

#### (2) 助成金申請受付状況

① 受付期間	平成27年7月1日～平成27年9月30日		
② 申請件数・金額	一般企業	16件	28,578,000円
	研究機関	14件	21,800,000円
	合計	30件	50,378,000円

#### (3) 選考委員会

- ① 日時 平成27年11月17日(火) 13:00～15:00  
会場 兵庫県立工業技術センター 技術交流館2階 セミナー室II  
出席者 (順不同・敬称略)

委員 太田 勲 兵庫県立大学 副学長  
委員 磯貝 武 (有)アイピーアイ 代表取締役  
委員 中前 勝彦 神戸大学 名誉教授 (書面)  
委員 上田 完次 兵庫県立工業技術センター 所長  
(代理 北川 洋一 兵庫県立工業技術センター 次長)  
委員 中村 俊一 神戸大学大学院医学研究科 教授  
委員 竹岡 嘉彦 兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長

## ② 研究開発助成基準

### 1. 助成対象

本県下の科学技術の振興をはかるため、主たる助成として

A. 研究開発に関する試作試験に対する助成

B. 新技術の実施化資金に対する助成

を対象とする。

ただし、上記以外で財団の事業趣旨に照らし、助成するに値する申請がある場合には、会長の承認を得て、助成することを得る。

### 2. 選考基準

イ. 県下の助成を必要とする個人、企業、研究機関で大企業、大規模プロジェクトは含まない。

ロ. 県下の科学技術の振興に寄与するもの。

ハ. 新規な学術または技術であること。

ニ. その計画が申請者において実施可能なものであること。

### 3. 選考方法

イ. 申請書、添付資料により審査を行う。

ロ. 必要に応じて内容聴取、または臨場調査することもある。

ハ. 選考は次の区分に評価する

A・・・助成金の交付が適当である

B・・・Aに準じる

C・・・助成金の交付は適当でない

ニ. 助成額は、年度予算を参考に選考委員の総意により、査定する。

## (4) 助成金交付件数及び助成額

一般企業	3件	700,000円
研究機関	3件	900,000円
合計	6件	1,600,000円

## (5) 創立40周年記念講演と科学技術振興に関する助成金贈呈の会

財団創立40周年を記念して、前公益社団法人兵庫工業会会長 池田辰雄氏の講演会を開催するとともに、前年度助成金受賞者による研究成果発表会後、第40回科学技術振興に関する助成金贈呈の会を行った。

日時 平成28年1月20日(金) 13:30~15:50



場所 生田神社会館 3階 梅の間 (神戸市中央区下山手通1-2-1)

参加者 約80名

内容

1. 贈呈の会記念 成果発表会 (13:30~15:00)

2. 財団創立40周年記念講演会 (15:00~15:30)

3. 助成金贈呈の会 (15:30~15:50)

挨拶 会長 神門 登 氏

審査経過報告 助成金選考委員会委員長 太田 勲 氏

助成金贈呈式



兵庫県科学技術振興助成金 年度別実績

(助成金単位:千円)

年度	回数	一般		学校		機関		合計	
		採用件数	助成金額	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額
昭和 51	第 1回	9	6,330	3	3,050	1	115	13	9,495
昭和 52	第 2回	3	1,650	5	5,100	3	305	11	7,055
昭和 53	第 3回	12	6,600	3	2,400	-	-	15	9,000
昭和 54	第 4回	6	3,600	6	4,200	-	-	12	7,800
昭和 55	第 5回	4	5,000	5	4,000	-	-	9	9,000
昭和 56	第 6回	6	6,000	5	5,000	-	-	11	11,000
昭和 57	第 7回	5	6,400	6	5,600	-	-	11	12,000
昭和 58	第 8回	4	6,800	9	8,200	-	-	13	15,000
昭和 59	第 9回	5	6,000	7	7,400	-	-	12	13,400
昭和 60	第 10回	4	5,000	8	8,300	-	-	12	13,300
昭和 61	第 11回	5	4,000	6	6,000	-	-	11	10,000
昭和 62	第 12回	4	3,700	7	6,300	-	-	11	10,000
昭和 63	第 13回	5	3,600	7	6,400	-	-	12	10,000
平成 1	第 14回	5	3,500	8	6,500	-	-	13	10,000
平成 2	第 15回	2	1,900	9	8,100	-	-	11	10,000
平成 3	第 16回	3	2,800	8	8,400	-	-	11	11,200
平成 4	第 17回	5	4,000	7	6,000	-	-	12	10,000
平成 5	第 18回	3	2,200	6	5,800	-	-	9	8,000
平成 6	第 19回	2	1,300	3	3,700	-	-	5	5,000
平成 7	第 20回	0	0	5	5,000	-	-	5	5,000
平成 8	第 21回	1	550	2	1,450	-	-	3	2,000
平成 9	第 22回	1	500	5	3,500	-	-	6	4,000
平成 10	第 23回	1	800	4	3,200	-	-	5	4,000
平成 11	第 24回	2	1,400	3	2,400	-	-	5	3,800
平成 12	第 25回	1	750	4	3,050	-	-	5	3,800
平成 13	第 26回	1	750	4	3,050	-	-	5	3,800
平成 14	第 27回	1	300	5	3,500	-	-	6	3,800
平成 15	第 28回	0	0	5	3,300	-	-	5	3,300
平成 16	第 29回	0	0	5	2,900	-	-	5	2,900
平成 17	第 30回	1	300	6	3,300	-	-	7	3,600
平成 18	第 31回	5	2,100	3	1,500	-	-	8	3,600
平成 19	第 32回	2	800	3	1,200	-	-	5	2,000
平成 20	第 33回	3	900	3	900	-	-	6	1,800
平成 21	第 34回	4	1,200	3	900	-	-	7	2,100
平成 22	第 35回	4	1,500	2	600	-	-	6	2,100
平成 23	第 36回	6	1,800	5	1,200	-	-	11	3,000
平成 24	第 37回	2	500	4	1,200	-	-	6	1,700
平成 25	第 38回	1	200	6	1,800	-	-	7	2,000
平成 26	第 39回	1	300	4	1,200	-	-	5	1,500
平成 27	第 40回	3	700	3	900	-	-	6	1,600
合計		132	95,730	202	156,500	4	420	338	252,650

(注:機関助成は昭和52年度で整備完了につき終了)

(6) 交付対象となった研究概要

「低電圧印加により透過率制御が可能な液晶含浸多孔質フィルムの開発」

合同会社阪神モノリス研究所 代表社員 竹内 靖

ナノメートル～マイクロメートルサイズの骨格と空隙からなる共連続構造を有するポリマー多孔質膜（モノリス）に対し液晶混合物を含浸させることで、低電圧印加により可視光透過率が可逆的に制御可能なフィルムを開発する。

アンカリング効果の抑制や透過率コントラストの向上を目指し、多孔質膜の作製条件、ポリマー骨格の化学架橋および表面処理プロセスなどを詳細に検討することで、微細骨格の構造と材料物性の相関性を明らかにする。これらの検討により駆動電圧や応答性の最適化を目指し、透明電極基板や液晶含浸プロセスの改善改良を行うことで、最大電圧数十ボルト程度で透明性が大きく変化する素子サンプルを作製する。

-----  
助成金額 30万円

「コンクリート構造物の脱塩方法及び脱塩装置」

株式会社オプト 代表取締役 安田 亨

本発明は、コンクリート構造物や多孔質の石材の塩分及び有機汚染物質の軽減・除去及び、チタン錯体などの含浸によりワークの表面を保護し、再汚染スピードを抑制する発明である。これにより、明治村天童眼鏡橋など文化財修復や道路関連塩害対策を容易にした。特徴は、以下の3点にあります。亜臨界領域の熱水を使用します。

1) 120℃ 20MP の熱水抽出領域を活用します

熱水の有機汚染物質の抽出（洗浄）作用を発揮します

2) 熱水の加水分解作用

加水分解作用の指標の水のイオン積（ $K_w$ ）は、250℃付近で最大となります

120℃付近では、 $K_w = -12$  となり 100 倍増加します

3) 熱水の誘電率低下を活用します 熱水は、メタノールに近い溶解力となります

上記の結果、極めて高い洗浄力と浸透力を発揮します。

-----  
助成金額 20万円

「果樹園防虫独立型 LED 照明器具の試作開発」

株式会社ドリーム 代表取締役 佐藤 明

現在、国内では害虫忌避型 LED 照明を製造販売している企業は数社ありますが、全て一次側電源から配線接続するタイプとなっており、入力電源は 100V 又は 200V 仕様となっています。弊社は 250W 出力の太陽光パネルとバッテリーを組み合わせ入力電源 24V にて点灯する防虫独立型 LED 照明を開発します。

又、害虫の交尾・産卵を防止するエネルギー周波数である 570nm（ナノメータ）の光をより多く発光するタイプとしては業界初の製品となり、小さな初期投資で基本ランニングコストゼロの画期的防虫照明として果樹園農家の方々に大変喜んでご使用頂ける製品となるものと確信しております。

-----  
助成金額 20万円

「革新的生体膜透過ブースティング技術を基盤とする難吸収性薬物の次世代型送達システムの構築」  
神戸学院大学薬学部 教授 武田 真莉子

21世紀に入り、ペプチド、タンパク質、抗体および核酸をベースとしたバイオ創薬の急速な発展に伴い、これら難吸収性高分子を生体に確実に効率よく送達させるための革新的な Drug Delivery System (DDS) 技術の製剤への導入がより一層求められている。本研究では、創薬全体における現在の大きな課題に対し普遍的な解決方法を提案することを究極の目標として、細胞膜透過ペプチド Cell-penetrating peptides (CPPs) の極めて高い膜透過ブースティング作用を利用して、膜透過性・生体吸収性に乏しい薬物および DDS キャリアに有効な膜透過デリバリー基盤技術を確立することを目的としている。本技術を、世界の経口製剤開発をリードする兵庫県発の基盤技術として完成させたいと願っている。

-----  
助成金額 30万円

「虚血性心疾患に対する新しい心臓専用半導体検出器型 SPECT 装置 (D-SPECT) の有用性の検討」  
神戸大学大学院医学研究科 循環器内科 助教 高谷 具史

虚血性心疾患の診断において、近年開発された半導体検出器を利用した新しい心臓専用 SPECT 装置が本邦で使用可能となり、当院ではその一つである D-SPECT を保険収載直後に導入した。この装置はエネルギー伝達効率の高い半導体検出器を複数配置することで、高感度、高空間分解能、高エネルギー分解能が得られる。これにより、座位でのデータ収集が可能となり、大幅な検査時間の短縮と被ばく線量の減少も可能となった。イメージクオリティが向上したことで、細かい病変検出が可能となり、診断精度の向上が期待できる。以上のとおり、従来の装置とは異なる点も多く、得られる画像の解釈について新たに検証する必要があり、現在尽力している。

-----  
助成金額 40万円

「ルブレンを基盤とする新規  $\pi$  電子系分子の創製と機能性の評価」

関西学院大学 理工学部環境・応用化学科 助教 北村 圭

ルブレンは高い電荷移動度を示し、有機半導体材料として利用される。本研究では  $\pi$  電子系の拡張したルブレン類の実用的合成法の確立とその特異的反応性の開拓を図り、高次構造を持つ新しい  $\pi$  共役系分子の物性評価を実施する。まずエチニル基を導入したイソベンゾフランとナフタラインとの [4+2] 型環付加反応を活用する効率的なルブレン類の合成法を確立する。また様々な置換基を有する誘導体を合成し、その構造的特徴および物性を系統的に調べる。さらに、複数の  $\pi$  電子系を利用する新しい反応性の開拓に向け、1) 熱的分子内 [4+2] 環付加反応、2) 金属触媒による分子間 [2+2+2] 環付加反応、3) 分子内 [2+2] および [4+4] 光環付加反応を実施する。

-----  
助成金額 20万円

## 2. 特記事項

開催日時	概要	場所
4月30日	会計監査（内沼監事）	発明協会事務室（財団事務局）
5月1日	会計監査（東川監事）	兵庫県庁
5月18日	第1回理事会	技術交流館2階 セミナー室
5月18日	公益法人室説明会	県庁2号館11階A会議室
6月3日	評議員会（不成立）	技術交流館2階 セミナー室
6月10日	評議員会（書面評決）	
6月10日	第2回理事会	技術交流館2階 セミナー室
6月30日	定期報告書類ネットにて提出	
7月1日	平成27年度 助成金申請受付開始	—
7月7日	役員変更登記手続	法務局
9月30日	平成27年度 助成金申請受付締切	—
9月30日	助成金平成26年度中間報告書提出締切	
11月17日	助成金選考委員会	技術交流館2階 セミナー室
12月1日	第3回理事会	ハニー化成株式会社 会議室
1月20日	第40回助成金贈呈の会	生田神社会館 梅の間
3月15日	第4回理事会	技術交流館2階 セミナー室
3月30日	助成金平成26年度終了報告書提出依頼	
3月31日	定期報告書類ネットにて提出	

## 貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増減 (△)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,971,197	2,028,790	△ 57,593
流動資産合計	1,971,197	2,028,790	△ 57,593
2. 固定資産			
(1)基本財産			
縁故債	200,000,000	200,000,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2)特定資産			
研究開発助成引当資産	6,000,000	6,000,000	0
特定資産合計	6,000,000	6,000,000	0
固定資産合計	206,000,000	206,000,000	0
資産合計	207,971,197	208,028,790	△ 57,593
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	300,000	300,000	0
流動負債合計	300,000	300,000	0
負債合計	300,000	300,000	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
出捐金	200,000,000	200,000,000	0
研究開発助成引当資産	6,000,000	6,000,000	0
指定正味財産合計	206,000,000	206,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 200,000,000 )	( 200,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 6,000,000 )	( 6,000,000 )	( 0 )
2. 一般正味財産	1,671,197	1,728,790	△ 57,593
正味財産合計	207,671,197	207,728,790	△ 57,593
負債及び正味財産合計	207,971,197	208,028,790	△ 57,593

## 正味財産増減計算書

平成27年 4月 1日 から 平成28年 3月31日 まで

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増減 (△)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[ 2,140,000 ]	[ 2,140,000 ]	[ 0 ]
基本財産受取利息	2,140,000	2,140,000	0
② 特定資産運用益	[ 24,289 ]	[ 24,250 ]	[ 39 ]
特定資産受取利息	24,289	24,250	39
③ 雑収益	[ 378 ]	[ 490 ]	[ △ 112 ]
受取利息	378	490	△ 112
経常収益計	2,164,667	2,164,740	△ 73
(2) 経常費用			
① 事業費	[ 1,804,029 ]	[ 1,661,764 ]	[ 142,265 ]
開発助成金支出	1,600,000	1,500,000	100,000
委員会費支出	9,000	13,700	△ 4,700
諸謝金支出	70,000	50,000	20,000
通信運搬費支出	36,860	15,142	21,718
消耗品費支出	4,929	1,382	3,547
賃借料支出	83,240	81,540	1,700
② 管理費	[ 418,231 ]	[ 408,929 ]	[ 9,302 ]
会議費支出	77,950	95,400	△ 17,450
事務委託費支出	300,000	300,000	0
消耗品費支出	27,322	1,890	25,432
通信運搬費支出	9,129	6,435	2,694
雑費支出	3,830	5,204	△ 1,374
経常費用計	2,222,260	2,070,693	151,567
当期経常増減額	△ 57,593	94,047	△ 151,640
当期一般正味財産増減額	△ 57,593	94,047	△ 151,640
一般正味財産期首残高	1,728,790	1,634,743	94,047
一般正味財産期末残高	1,671,197	1,728,790	△ 57,593
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	206,000,000	206,000,000	0
指定正味財産期末残高	206,000,000	206,000,000	0
III 正味財産期末残高	207,671,197	207,728,790	△ 57,593

正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引控除	合計
	公1 (研究開発助成金事業)	小計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1,585,740	1,585,740	554,260	0	2,140,000
基本財産受取利息	1,585,740	1,585,740	554,260	0	2,140,000
特定資産運用益	24,289	24,289	0	0	24,289
特定資産受取利息	24,289	24,289	0	0	24,289
雑収益	0	0	378	0	378
受取利息	0	0	378	0	378
<b>経常収益計</b>	<b>1,610,029</b>	<b>1,610,029</b>	<b>554,638</b>	<b>0</b>	<b>2,164,667</b>
(2) 経常費用					
事業費	1,804,029	1,804,029			1,804,029
開発助成金支出	1,600,000	1,600,000			1,600,000
委員会支出	9,000	9,000			9,000
諸謝金支出	70,000	70,000			70,000
通信運搬費支出	36,860	36,860			36,860
消耗品費支出	4,929	4,929			4,929
賃借料支出	83,240	83,240			83,240
管理費			418,231	0	418,231
会議費支出			77,950	0	77,950
事務委託費支出			300,000	0	300,000
消耗品費支出			27,322	0	27,322
通信運搬費支出			9,129	0	9,129
雑支出			3,830	0	3,830
<b>経常費用計</b>	<b>1,804,029</b>	<b>1,804,029</b>	<b>418,231</b>	<b>0</b>	<b>2,222,260</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 194,000	△ 194,000	136,407	0	△ 57,593
当期経常増減額	△ 194,000	△ 194,000	136,407	0	△ 57,593
他会計振替額	136,407	136,407	△ 136,407	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 57,593	△ 57,593	0	0	△ 57,593
一般正味財産期首残高					1,728,790
一般正味財産期末残高					1,671,197
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	206,000,000	206,000,000			206,000,000
指定正味財産期末残高	206,000,000	206,000,000	0	0	206,000,000
III 正味財産期末残高	207,671,197	207,671,197	0	0	207,671,197



## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 消費税等の会計処理

課税売上がないため、税込にて処理

### 2. 会計方針の変更

該当事項はなし。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
兵庫県縁故債	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
研究開発助成引当資産	6,000,000	0	0	6,000,000
合 計	206,000,000	0	0	206,000,000

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
兵庫県縁故債	200,000,000	200,000,000	0	0
特定資産				
研究開発助成引当資産			0	0
兵庫県住宅供給公社債1年債	6,000,000	6,000,000	0	0
合 計	206,000,000	206,000,000	0	0

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲は、現金預金、未払金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	2,028,790	1,971,197
合計	2,028,790	1,971,197
未払金	300,000	300,000
次期繰越収支差額	1,728,790	1,671,197

## 財 産 目 録

平成28年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金	手元保管	運転資金として	17,912
	現金預金	普通預金 三井住友銀行兵庫支店	運転資金として	1,953,285
流動資産合計				1,971,197
(固定資産)	基本財産	縁故債	兵庫県縁故債	公益目的保有財産であり、運用益の74.1%を公益目的事業の財源として、25.9%を管理費の財源として使用している
	特定資産	研究開発助成引当資産	兵庫県住宅供給公社債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している
				6,000,000
固定資産合計				206,000,000
資産合計				207,971,197
(流動負債)	未払金	(一社)兵庫県発明協会に対する未払額	事務委託費の未払い分	300,000
流動負債合計				300,000
負債合計				300,000
正味財産				207,671,197

## 収 支 計 算 書 (予算対比)

平成27年 4月 1日 から 平成28年 3月31日 まで

(単位 円)

科 目	予算額(12月1日補正)	決算額	差異 (△)
<b>I 事業活動収支の部</b>			
1. 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	[ 2,140,000 ]	[ 2,140,000 ]	[ 0 ]
基本財産利息収入	2,140,000	2,140,000	0
② 特定資産運用収入	[ 24,000 ]	[ 24,289 ]	[ △ 289 ]
特定資産利息収入	24,000	24,289	△ 289
③ 雑収入	[ 0 ]	[ 378 ]	[ △ 378 ]
利息収入	0	378	△ 378
事業活動収入計	2,164,000	2,164,667	△ 667
2. 事業活動支出			
① 事業費支出	[ 1,799,000 ]	[ 1,804,029 ]	[ △ 5,029 ]
開発助成金支出	1,600,000	1,600,000	0
委員会費支出	9,000	9,000	0
諸謝金支出	70,000	70,000	0
通信運搬費支出	32,000	36,860	△ 4,860
消耗品費支出	4,000	4,929	△ 929
賃借料支出	84,000	83,240	760
② 管理費支出	[ 382,000 ]	[ 418,231 ]	[ △ 36,231 ]
会議費支出	46,000	77,950	△ 31,950
事務委託費支出	300,000	300,000	0
消耗品費支出	26,000	27,322	△ 1,322
通信運搬費支出	6,000	9,129	△ 3,129
雑費支出	4,000	3,830	170
事業活動支出計	2,181,000	2,222,260	△ 41,260
事業活動収支差額	△ 17,000	△ 57,593	40,593
<b>II 投資活動収支の部</b>			
投資活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	△ 17,000	△ 57,593	40,593
前期繰越収支差額	1,728,790	1,728,790	0
次期繰越収支差額	1,711,790	1,671,197	40,593

# 監 査 報 告 書

平成28年 4月26日

公益財団法人 兵庫県科学技術振興財団  
会 長 神 門 登 殿

監 事 内 沼 英 城

私は、公益財団法人 兵庫県科学技術振興財団の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度の事業年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び財産目録並びに収支計算書の正確性を検討いたしました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

## 2 監査意見

- (1) 財務諸表及び財産目録並びに収支計算書は、法人の平成27年度末日現在の財政状態並びに同年事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告は、法令又は定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

# 監 査 報 告 書

平成28年 5月 9日

公益財団法人 兵庫県科学技術振興財団  
会 長 神 門 登 殿

監 事 竹岡 嘉彦

私は、公益財団法人 兵庫県科学技術振興財団の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度の事業年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び財産目録並びに収支計算書の正確性を検討いたしました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

## 2 監査意見

- (1) 財務諸表及び財産目録並びに収支計算書は、法人の平成27年度末日現在の財政状態並びに同年事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告は、法令又は定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上